

ゆうばえのみち意見交換会記録 第一部質疑事項

【ゆうばえのみち再整備計画（素案）に関する質疑事項】

- ・ 自転車・歩行者専用道路（や緑道）において、実証実験を行っているが、成果は見られたのか。また、決定した報告書や前提について、しっかり説明して欲しい。
→回答：実証実験を行った結果、自転車利用者、歩行者の約6～8割の人が通行位置を守って、アンケート結果では、約3割の人が以前より安全になったと回答した。駅へ向かうルートを中心に自転車の推奨ルートを設定した。詳しくはホームページをご覧ください。
- ・ 擬石平板舗装と並行している土舗装の部分をアスファルト舗装にするとあるが、ゆうばえのみちに関しては土舗装がなくなるということなのか。全ての緑道で土舗装をなくすということか。
→回答：主園路は、舗装して誰もが歩きやすいようする予定。脇道などは土舗装を残していく。
- ・ 通路の拡幅については、どのような理由で行うのか。
→回答：通勤・通学など時間帯により緑道が混み合うことや、推奨ルートでの自転車通行も踏まえ、安全を確保するため3～4mを目処に拡幅を行う。ただし、物理的に拡幅ができない場所を行わない。
- ・ 基準に沿って整備するとの説明があったが、どんな基準があるのか。
→回答：例えば、照明については公園緑地設計指針にある設計照度を満足するよう更新等を行う。また、入口や階段などは横浜市福祉のまちづくり条例にあるバリアフリー基準を満足するように整備していく。
- ・ 今回ゆうばえのみちの問題点と方策について説明があったが、15キロメートルもの緑道全体の地域特性について区としてオーソライズしたものとなっているのか。
→回答：今回の意見交換会はゆうばえのみちの再整備を行うために課題等を整理したものである。今後も順次緑道の再整備を進めていくが、緑道によって異なる課題もあるため、緑道ごとに課題や解決の方向性を示し、近接する地域や愛護会など関係団体の皆様との意見交換や区民の皆様から意見をいただくなどして、再整備を進めていく。

- 元々自然豊かなところであったが、清水が細くなって水が枯れてきているので、浸透枳により地下水の保全を図ってもらいたい。また、鴨池公園は再整備工事でベンチが増えてよかった。ゆうばえのみちにもベンチを設置してほしい。地域のシンボルとなるものを作成してほしい。階段により車椅子が通れない箇所がある。階段をなくしスロープ等を設置してほしい。

ゆうばえのみち意見交換会議事要旨

【共通】

- ・ 改修に関して、総論（全体計画）をきちんと整理して各論（整備）をしてもらいたい。
- ・ 緑道があるまちづくりしているのは日本のなかでも都筑区だけだと思う。
- ・ UR が市に管理委託（移管）するとき、道として位置づけるのは難しく、公園の位置づけにしたのはそのほうが手続きがよいと伺っている。公園の中だから自転車はだめという考え方は経緯を無視した、一方的な行政の解釈だと思う。
- ・ 緑道を整備するに当たり、UR のすぐれた人たちが計画、整備し、優れた空間ができあがっている。再整備するにあたっては、元々の計画をよく理解し、その空間が発展するような再整備をしてもらいたい。当初の手すりの上部は無垢の鉄が使われている。白河石にしても厚みがあり、すばらしい物をつかっている。一方で擬石平板はガタがきているところもある。当初の考え方を踏襲してより魅力のあるしっかりしたもので、整備してもらいたい。
- ・ 自転車歩行者安全事業計画と緑道再整備を混同しないほうが良い。照明や舗装など、議論することが多岐にわたり混乱する。別々にチームを作って議論する必要がある。
- ・ ゆうばえのみちの再整備であるが、緑道全体の再整備計画を作成して欲しい。共通部分も多いはずなので、統一的な基準を考えて欲しい。
- ・ 自転車問題はとても大きな問題なので再整備計画と別で行って欲しい。場合によっては、再整備計画を多少抑えてでも、緊急のところを優先的におこない、待ってもよいところはみんなできちんと考えてほしい。
- ・ 解決の方策は市民参加で検討し、意見をくみ上げてほしい。それを各緑道ごとにあてはめて計画してやればよいのではないか。
- ・ この意見交換会の前に実際に歩いてみた。個人的な感想では、現状の緑道に満足している。問題だと思っている人ももちろんいるだろう。
- ・ ここにいる人たちが意見交換会の後に、現地見学会をぜひ行ってほしい。その場で様々な意見を聞きながら、土木事務所が事情や解決策を説明すれば、みんなの意識が高まる。そしてまとめの会を行い、3段階で議論してはどうか。
- ・ 都筑区の緑道全体を、統一した考え方で計画して欲しい。
- ・ 意見交換だけでなく、実際に現場を歩いて課題を見つけていったほうが良い。
- ・ （5本ある緑道のうち、ゆうばえのみちは、再整備計画の）初回となるので、きちんと行ってほしい。
- ・ 意見は、土木事務所で留めず、区政推進課、地域振興課などの担当課にも伝えてほし

い。共有して欲しい。

- 意見交換会には、土木事務所だけでなく、区政推進課や地域振興課も出席してもらって生の声を聞いてもらったほうが良いのではないか。

【舗装】

- グランノア港北の丘付近の石の舗装（小舗石舗装）は確かに滑りやすい。アスファルト舗装に変更すると歩きやすくなるが、公園として見た目がどうなるのか気になる。
- 水のたまりやすい箇所は、鴨池公園の様な浸透舗装にしてもらいたい。
- 鴨池公園の様な舗装（脱色アスファルト舗装）になるのか。ならないのであれば、アスファルト舗装に置き換える場合にラインだけでもレンガや石材を入れてイメージを良くしてもらいたい。
- 舗装するだけだと、景観のことがあるのでそれも考慮してもらいたい。
- タイル（白河石）が凸凹している場所がある。水はけの良いアスファルトなどの上に平板を貼れば、凸凹になることはない。当初は費用がかかるが、補修などの費用はかからないので良いのではないか。
- 舗装がバラバラなので、統一的なデザインを検討したほうが良い。

【樹木】

- 20年30年経過し植栽が巨木化している。シラカシの枝が密集してカラスの巣がたくさんできている。巨木化したシラカシの間引きや、枝おろしが必要。
- ゆうやけ橋の前後の巨木化したクスノキはすでに数本間引きをしてもらっているが、クスノキは樹種として細い緑道に望ましくない。車道にも枝がでてしまい、落ち葉も多いので別の樹種に置き換えをしてもらいたい。
- ライブタウンに枝が入って苦情もきている、枝きり（越境枝剪定）をもらいたい。
- 駅とオレンジライン（自転車歩行者専用道路）の三叉路のところで木の密集がすごく、剪定してもらった。その後は広場がよく見通せるようになった。
- 樹木は思い切って間伐しても良いと思う。そうしても緑の量はかわらない。良質な緑を残してってもらいたい。ゆうばえのみちを楽しめるような花物も入れてほしい。
- 巨木化している木の根上がりで敷石が盛り上がっている。根上がりのために舗装を取り除くことや柵をもらいたい。
- 樹木は、数十年後の生長を想定して植えているはずなので、それにあわせてやってほしい。すでにやっているところもある。
- 川和富士公園は過去（3年前）に再整備したが、サクラが少なくなってしまうさみし

くなった（枯れたサクラを伐採したため）。間伐する樹種やサクラの補植についても検討して欲しい。

- ・ 樹木の剪定の仕方が違うのではないか。夏に強剪定をしたために枯れているところがある。間伐をするにもせっかく育った樹木を生かすような伐採や剪定を行って欲しい。
- ・ 間伐する樹木は照明や見通しの具合をよく見て選定してほしい。
- ・ 剪定も計画的に（何年後に剪定が必要か等）チェックする体制が必要。

【照明】

- ・ 照明や樹木など 28 年たって古くなった施設などはしっかりメンテナンスしてもらいたい。
- ・ 緑道内の朝夕は暗く、女生徒の通学で不安がある。
- ・ 照明器具も当初のものは凝っていたが、取りかえたものは一般的なもので面白みがなくなった。
- ・ 見花山かりん公園近くにある単管ポールの防犯灯が景観性にそぐわないため撤去してもらいたい。
- ・ LED 照明に替えてもらったのが、高齢者にはまぶしい。照度の考慮だけでなく輝度についても考慮してもらいたい。
- ・ 照明灯の高さをすべて同じにしているために、樹木の中にもぐってしまうものと、そうでないものがある。位置を変えるか高さを下げるかして、繁茂しても光が届くように考えてほしい。
- ・ 川和中学校の照明灯（ゆうばえのみちに面している中学校の照明灯）がずっと点いていない。中学校に要望するつもりになっている。
- ・ 緑道はとても気に入っていてよく散歩するが、夜になると暗くてこわい。
- ・ 今頃、照明の暗い箇所の話が出てきたが、定期的なチェック体制が出来ていないからではないか。チェックができていないから問題が起こる。
- ・ 中学校から月出松までは灯具を変えるだけで、明るさが解消するのか。照明灯の間隔が開きすぎている。追加で設置することはできないのか。
- ・ 川和富士公園の事例では照明を明るくし過ぎて、夜間に少年が来たりする。全ての場所を明るくするのではなく、足りない場所に照明を増やして欲しい。

【排水】

- ・ 緑道を横断する V 型側溝はバリアフリーの観点で望ましくない。改修してもらいたい。
- ・ 鴨池公園を上ってきた三叉路の左右の U 型側溝に泥がいっぱいになっている。U 型

側溝を完全に密封できるものがあるのか（落ち葉や泥が入らない構造）。

- ・ U型側溝の掃除を十数人集めて掃除したが2,3時間では終わらなかった。
- ・ 鴨池公園付近は舗装してもらいたいし、U型側溝をきちんとしてもらいたい。泥が入らないようにしてもらえればと思う。
- ・ ライブタウン付近のU型側溝が排水を処理しきれずに舗装の上まで雨がたまりうずをまいてしまっている。以前水たまりに砂を入れてもらったが、流れてしまった。散歩で歩くと水みちの跡もみられる。
- ・ オレンジライン（自転車歩行者専用道路）の三叉路は擬石平板のレベルは高さを調整するだけでなく、雨水のこともしっかり考えてもらいたい。
- ・ U字溝は土砂や落ち葉で1～2年ですぐに埋まってしまう。対策をどうするのか伺いたい。
- ・ カツラの広場（川和東小付近の信号があるところ）に水が溜まる。
- ・ 側溝に溜まった泥の清掃をしているが、どこに処理するのか。日常的な清掃は、公園愛護会と土木事務所が協力して行う必要がある。

【バリアフリー】

- ・ 川和東小学校で車いす体験が行われているが、グラウンド側の裏門付近（川和東小付近の信号があるところ）の（白河）石張り舗装の目地が広い為、車いすが全く通れなかった。改善してもらいたい。
- ・ 旧型の車いす用の車止めが機能していないと感じていた。
- ・ ベンチ（の素材）を石にすれば、木のベンチのように劣化することなく、半永久的に使用できるのではないか。
- ・ 都筑ふれあいの丘に向かう緑道の入口（川和東小付近の信号があるところ）に、段差があるところがある。レンガ（白河石）に隙間があり、危ない。工夫してほしい。

【自転車と歩行者の安全】

- ・ 港北ニュータウンはグリーンマトリクスとオレンジマトリクス（自転車歩行者専用道路）が整備されているが28年が経過しメンテナンスが必要になってきている。メンテナンス以外にも自転車通行が激しくなっている。公園法（横浜市公園条例）に基づく緑道は自転車は押して歩かなくてはいけないとなっている。が、現実には押して歩いている人はいない。大人の社会では本音と建前があるが、小学生に教えるときには言葉に窮している。
- ・ 緑道の中を自転車通行推奨ルートにするならば、オレンジマトリクス（自転車歩行者

専用道路)、車道(一般道)の推奨ルートとの関連性も都筑区全体で検証しなければならない。

- 今の計画だといずれ緑道で乗って良くなることになっていく。自転車利用がされるようになると、朝霧橋付近は狭いし、坂になってスピードがでるため、わき道から出てきた歩行者との接触しそうになる。歩行者と自転車との接触事故の場合、(訴訟になったら)自転車の方が悪くなる。
- 牛ヶ谷と中学校の間の坂道を登り切ると、自転車を降りて歩いてくださいと看板がたっている。ただ、坂を登り切って自転車を降りている人はいない。これを降りるよう強制するのは難しい。
- 舗装してもらえるのであれば、自転車の専用レーンを設けてもらいたい。自転車の交通量が多いので。
- ゆうばえのみちとオレンジライン(自転車歩行者専用道路)の三叉路が駅から坂になっているので坂を下りてくる自転車と内側から来る自転車がぶつかりそうになり、ふらついていて転んでいる人が多い。また自転車にのった子供が土と舗装の段差で転んでしまっている。
- 自転車の扱い方については考え方だと思う。緑道内の自転車通行はいけない、歩道は自転車がいけないとすべて車道に追い出すことは現実的に難しい。歩道内に自転車と区切ることもあまり賛成できない。モラル意識の問題だと思う。(緑道の)すみっこを遠慮しながら走るものだと思う。自転車が走れるスペースがあるからここを通過してくれというのはあまり良い方法ではないと思う。後ろ通りますとか声をかけながら走るとか、思いやりをもって走るのが(自転車利用の)あり方だと思う。
- 出来た当初は自転車と歩行者が通れるようなサインがあった。共存しようという整備だったと思う。その後、自転車は入ってはいけないという看板が立てられて、批判が多かったのか、降りて押して歩きましょうという看板になった。全部付け替えた経緯がある。
- 自転車に関しては安全が第一だと思っている。そのあたりは土木事務所がいろいろ考えているのではないか。
- 推奨ルートについて、オレンジルート(自転車歩行者専用道路)だけでなく、緑道も通してしまうのはどうなのか。土木が勝手に決めていいのか。
- 公園愛護会緑道部会と土木事務所では今まで、現実の状況をよく見ながら、看板の文言に至るまでさんざん議論をしてきた。行政が一方的に決めたものではないということは紹介しておきたい。
- 町内会や公園愛護会に対して説明するだけでなく、全体で議論した方が良いという意

味で申し上げた。

- ・ ちょうど良い緑道があるため自転車が結構走っている。なかなか降りて歩けとは言えないので、なにかもう少し良い方法がないか、みんなで考えたらもう少し方法があるのではないか。注意の呼びかけも難しいので。
- ・ 川和東小のほうから月出松公園まで、子どもたちの自転車通行が多い。新設した車止めのおかげでだいぶ違う（スピードの出し過ぎが改善された）。
- ・ 川和東小学校の正門は緑道との境になっている（正門を出るとすぐ緑道になっている）。児童が走って飛び出したりすることがある。自転車が走っていることがあり、また見通しの悪いところなのでの接触の恐れがあり、危険である。
- ・ 正門前を早期整備して欲しい。自転車と子供がすみわけできるような工夫をしてほしい。（注意喚起シール、舗装の色分け、ポールの設置等）

【安全・防犯】

- ・ 防犯上、犯罪等の温床となるのは人が隠れるところがあり、暗いところである。幅が狭かったり緑が過剰にあるのはダメである。樹木の剪定などもそのようなことも考慮してほしい。照明も人が隠れられないように明るくするとか、場合によっては、防犯カメラの設置も検討してほしい。
- ・ 通勤などで夜も通る道なので、使ってもらうことが安全、防犯につながると思う。
- ・ 夜、月出松公園に向かうところは人通りも少なく怖い。照明も含め防犯上の工夫が欲しい。

【その他】

- ・ 秋は落ち葉にタバコが落ちていて危ない。12月に落ち葉の清掃を行っているが、住民だけでは運びきれない。土木でも協力してほしい。
- ・ 月出松公園の方の工事はいつの予定か？
- ・ 緑道の（再整備）計画で意見交換会をおこなうのは初めてか？
- ・ ほかの緑道は？
- ・ 土木事務所も職員の異動などがあるので、チェック体制に疑問がある。再整備しても、木はどんどん伸びて照明にかかるし、しっかり継続してチェックして欲しい。
- ・ 川和東小学校付近など、部分的に早期整備が必要である。
- ・ 緊急的に対策が必要なもの（防犯上や安全上）については、H30年度などと言わず、整備時期を前倒しして整備して欲しい。事故があってからでは遅い。
- ・ 予算が厳しいのはわかるが、防犯上、安全上のものはやらなければならない。なにも

100%やってくれと言っているわけではない。少しずつでもやっていけばいつかは100%になる。

- ・ 緑道の防犯・安全に関する課題はスパンの長い話なので、土木事務所内で職員の異動があっても、きちんと引き継いでいって欲しい。